

壬生東小だより

第9号

令和8年1月16日
壬生町立壬生東小学校
校長 福田 尊史

教育目標 ・仲良く助け合う子 ・よく学ぶ子 ・たくましい子
目指す子供像「他者と協働し、目標に向かって根気強く取り組む子ども」



2026年がスタートしました！



新年あけましておめでとうございます。清々しい空気とともに、令和8年の新しい年がスタートしました。冬休みを終え、校舎に子供たちの元気な笑顔が戻ってまいりました。3学期はあっという間に過ぎ去る短い学期です。しかし同時に、今の学年の学習や生活を締めくり、次のステップへとつなげる大切な「黄金の3ヶ月」でもあります。一人一人が自信を持って進級・進学を迎えられるよう、職員一同全力で支えてまいります。本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

3学期の始業式を実施しました！



始業式では、子どもたちに「3学期は、次の学年の準備をする『0学期』である」という話をしました。今の学年で自分を支えてくれた友達、先生、家族や地域の皆様への「感謝」を、言葉や行動でしっかり表現していこうと話しました。



始業式の後に「家読（うちどく）コンテスト」の表彰を行いました。本校では、本を読む楽しさを知り、家族のふれあいを通じて絆を深めることを目的に、11月の読書月間に「家読（家庭読書）」に取り組んでいます。寄せられた感想カードの中から、学校運営協議会の皆様に各学年3点ずつ優秀な作品を選んでいただき、学校運営協議会会長様より賞状を手渡しました。



学カテストを実施しました！



1月14日（水）、全学年で「学カテスト」を実施しました。今回のテストでは、1年生から6年生までの全児童が「国語」と「算数」の2教科に取り組みました。教室を回ると、一問一問を慎重に読み、最後まで粘り強く考え抜く子供たちの真剣な姿が見られました。鉛筆の音だけが響く静まり返った教室には、これまでの学習の成果を出し切ろうとする心地よい緊張感が漂っていました。このテストは、今年度の学習内容がどの程度身に付いているかを確認するための大切な節目です。結果を詳細に分析し、今後の復習や、一人一人の学力向上に向けたきめ細やかな指導に役立ててまいります。



ボランティアに支えられた 安全で豊かな教育活動

本校では、地域の方々に支えられた教育活動を特色の一つとしております。下記のようなボランティアの皆様との交流を通じ、子供たちに「感謝の心」や「挨拶の習慣」といった豊かな心が育まれています。本校では子供たちの学びと安全を支えてくださるボランティアを随時募集しています。特別な資格は必要ありません。「できるときに、できることを」という温かなお気持ちで、お力添えをいただければ幸いです。

※詳細は別紙の募集チラシを参照ください。



登下校の安心を守る

「安全支援ボランティア」

登下校時に通学路に立ち、子供たちの通学の見守りを行っていただいています。皆様の「おはよう」「気をつけてね」という一言が、子供たちの安心感につながります。毎日の登校時、または下校時のわずかな時間でも大きな力になります。



心豊かな朝を創る

「読み聞かせボランティア」

朝の読書の時間に、教室で子供たちに絵本などの読み聞かせをしていただいています。子供たちは皆様が語る物語の世界を、目を輝かせて楽しみにしています。本や活字に触れる機会が減っている昨今、子供たちの感性や想像力を育む重要な機会となっています。



清々しい朝を支える

「清掃ボランティア」

子供たちが登校し、一日を元気に過ごすための環境づくりをお手伝いいただく活動です。月・水・金曜日の朝や放課後の時間に、校舎内の廊下や階段、トイレなどの清掃活動をしていただいています。学校全体がパツと明るくなり、子供たちの心も整います。



命の尊さを伝える

「飼育ボランティア」

土曜日や日曜日、祝日に、学校で飼育しているウサギにえさをあげたり、小屋の掃除をしたりする活動です。お子さんやお孫さんと一緒に参加して、身近な生き物とのふれあいを楽しまれている方も多くいらっしゃいます。

ほかにもこんな活動があります。

「昔遊びボランティア」は、3学期（1月頃）に行われる1年生の生活科の授業で、あやとりやお手玉、竹とんぼといった昔から伝わる遊びと一緒に交流していただく活動です。昔遊びの知恵やコツを直接教わることで、子供たちの遊びの世界が大きく広がります。他にも、家庭科でのミシン掛けや裁縫の補助・支援、楽器（琴や太鼓など）の模範演奏など授業のサポートしていただくボランティアも募集しています。また、花壇のお手入れや除草、樹木の剪定といった環境整備など、皆様の趣味や特技を活かせる活動でご支援いただければありがたいです。